

民主化闘争情報

No. 1006

2018年8月10日

発行 日本鉄道労働組合連合会

(JR連合)

8月6日、JR連合に加盟するジェイアール・イーストユニオン（JREユニオン）関東地協は、大宮支社管内において営業職の青年1名を組織拡大した。今回の拡大は、より良い会社、お客様にさらにお喜びいただけるサービスを提供するためには、日本全国の横のつながりが必要だと、加入者自らが判断し、JR連合・JREユニオンへの加入を決断したものだ。

JREユニオンでは、東京、仙台、新潟に続く組織拡大の朗報であり、自由にして民主的な労働運動を唱えるJR連合・JREユニオンへの結集に向けた流れが各地で着々と出来つつあることの現れである。

ジェイアール・イーストユニオン

東京、仙台、新潟に続いて 大宮でも1名 自ら加入を決断！

7月30日の朝日新聞夕刊に掲載された「JR東労組異例7割脱退 3.3万人組合の運営に反発」の記事によると、JR東労組の現状について、「2月1日時点で社員の8割にあたる4万6870人を組織していたが、7月1日時点で1万3540人に減った。わずか5カ月間で組合員の7割超が脱退する異例の事態となっている。落ち込みに歯止めもかかっていない。」とあり、いまだ脱退の勢いは止まらない。その一方で、車両系職場や、新潟、高崎などでも、JR東労組から脱退した元組合役員らが中心となって新たな労働組合を立ち上げているなど、JR東労組の瓦解による組織内部の混乱と、その背後で蠢くOBらの動きも相俟って一層混沌とした状況を生んでいる。

会社発展のためには民主的な労働運動が必要不可欠！

JR連合・JREユニオンは、働く者の明るい未来を創造するために、未加入者をはじめ多くの仲間へ結集を呼びかけている。すべてのJR連合運動を組織強化・拡大につなげ、民主化闘争完遂・JR労働界の一元化にむけ、大きなうねりを創り出していく！

**ともに良識ある健全な労働組合・労使関係を築いていこう！
今こそJR連合・JREユニオンに結集しよう！**